

令和7年度学校給食運営審議会視察候補一覧

No	施設名	視察 受入	試食	代金	日程	開設	片道 時間	提供 食数	特徴
1	小平市立学校給食センター	○	○	382円	×	R5年2月	34分	4,800	PFI方式（代表企業：株式会社東洋食品）。市立中学校8校に提供。地場産農産物の使用比率が30%を超えている。安心安全な食材調達、食育の推進、手作りを重視など。
2	福生市防災食育センター	○	×	—	×	H29年9月 (2017年)	36分	4500	避難所・災害備蓄庫・応急給食施設等の総合的な防災機能を備える。小学校7校、中学校3校に提供。生野菜提供可能、手作り献立に対応、災害時対応の炊飯システムなど。
3	府中市立学校給食センター	○	○	340円	○	H29年9月	24分	22,000	小学校22校15,000食、中学校11校6,400食を提供する日本最大級の給食センター。地場産・姉妹都市産農産物を使用したご当地メニュー、手作り給食の推進、食育の推進、アレルギー対応食の充実など。
4	武蔵村山市防災食育センター	○	×	—	○	R7年4月	42分	6,000	現時点で都内最新の給食センター。災害時の機能維持、市内避難者1万人への応急給食を3日間実施できる食材を備蓄。旬の食材や地場産農産物を活用し手作りや自前で出汁を取るなど季節感と栄養バランスを重視。